

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績													事業実施主体の評 価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
										獣種	被害金額				被害面積				処理頭数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
尾道市有害鳥獣捕 獲対策協議会	尾道市 全域	令和5年度		【推進事業】		尾道市 有害鳥 獣捕獲 対策協 議会	R6.1.31	100%	・サル捕獲の増頭に繋 がった。 ・捕獲作業員による見回 り等の捕獲作業の負担 軽減に繋がった。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。
注2)達成率の算出方法については「実績値(＝基準年値－実績値)／目標値(＝基準年値－目標値)」であるとして算出してください。
注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント:一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構 理事 中川浩二
イノシシについては、捕獲頭数が減少しているのは豚熱の影響と思われるが、捕獲檻やセンサーカメラの導入、誘引方法の改善等で加害個体の捕獲に繋がっており、全体として被害額は減少している。また、ICTの導入により、高齢化が進む捕獲作業員の見回り等の負担軽減に繋がっている。さらに、市街地出没対策として、安価で大きさも自由に換えられるWMIによるサークル罠での捕獲にも取り組んでおり、効果的な誘引方法の導入とICTシステムとの組み合わせで、効果的で効率的な捕獲が出来るようになっており、設置したエリアの市街地出没抑制に成果がでている。しかし、侵入防止対策や環境対策が不十分な地域もあり、加害個体の捕獲も含めて、地域が一体となった対策推進が引き続き必要である。
サルについては、大型捕獲檻の導入と地域での誘引餌の管理が出来るようになり、捕獲頭数が急増した。また、地域の誘引物であるカキの伐採にもつながっている。尾道市北部には複数の群れが確認されており、群れの活動エリアも広がる傾向にあり、サル被害を減少させるには、地域毎の対策(侵入防止対策、誘引果樹の伐採、追い払い、加害個体の捕獲等)を地域住民を中心に計画的に実施する必要がある。
その他の獣種については、全体として被害額、面積ともに減少傾向ではあるが、今後、シカの出没エリアが拡大し、被害が増加する可能性があり、対策が必要となることが懸念される。

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。